

老人の医療・福祉 110番を開設

11月より電話相談を
行っています。

(詳細は6面に)

石川保険医新聞

発行所
石川県保険医協会
金沢市尾張町1丁目9番11号
尾張町レジデンス2F
電話 (0762) 22-5373番
発行人 後藤田博之
印刷所 ユーアイ印刷
(会費月額 3,800円)

持論

最近、保健所による医療監視が厳しくなってきた。それは、外来も入院も少ないのに常勤医師の増加命令とか、現在では、単独では使用する機会もない光電比色計の設置命令等に見られ、そのうち診療所での四十八時間をこえる患者収容の問題点も追求されかねない状況であります。

確かに過日のある病院での収容定数を越えての患者収容と看護要員の不足の問題は大きく、入院患者に看護不足という迷惑をかけたかもしません。

医療監視の問題点

最近の医療監視の問題点は、入院も外来も極めて少ない病院においても常勤医師定員不足を追求しているのが現実であります。

スガ悪ければ、患者の選択の自由により医療機関はさびれます。つまり法的規制より厳しい社会批判があるのが現実であります。



厚生省の改革案をめぐってその背景と狙い、そしてわれわれの対応等について熱心に話し合いました。

どうなる これからの保険医療

理事座談会開く

A これまでの健保改悪の理由には健保財政の赤字であった。しかし最近では医療費通知の徹底等により二年続きの黒字であり、従来の累積赤字も解消しているゆえ納得できない。しかも国民の七・九人に一人の割合で有病者が出ている中で健保改悪であり重大な問題である。

B 政府は二〇兆円の赤字国債を叩きつけており、その失敗を福祉や医療に押しつけようとしているのが実態である。本来、福祉や医療は国民の要求にもとじて伸びてきたものであるが、これを国家予算一〇〇シーリングの枠内に抑え込もうとするのは本末転倒である。

C 公的医療費の削減
D 高齡化社会の到来と年一兆円の医療費増という厚生省のキャンペーンにわれわれが有効に対処してこなかったことも今回の改革案が出てきた要因ですね。

E 公的医療費の削減
F 日医がマスコミに一切働きかけてこなかったこと、われわれ医師の側にも原因があると思えます。医師自身ももっと住民の中に飛び込んで社会的活動をすべきです。

G 公的医療費の削減
H 元蔵相の渡辺美智雄は厚生省予算の六、二〇〇億円の削減案は受診率のダウンが見込まれるから一兆八千億円にも匹敵すると云っています。また、その席上「勤労者は退職し、病気になるたら死んでもらいたい」と放言しています。

医療制限を招く医療標準

D 国保加入者も入院時食事負担や一部薬剤の保険適用除外は該当しますし、国保への国庫補助も大幅削減となりますので、保険料の引上げは必ずです。

医心凡話

古い新聞の切りぬきを見ていると、思いがけず昔の感動がよみがえってくることもある。五年前、世界最高のパイオリニーストのアイザック・スターンが来日して桐朋学園の高校生オーケストラと共演した時の記事があった。

最近、患者の開業医はなれと公立病院志向が強いといわれているけれども、果して開業医としての自分の心に押れないだろうか。医療事故、医事紛争をさけるために自身医療を、知らず知らずやっていたであろうか。進歩する医学の中の自己研修を怠らず患者のために自分の可能性のすべてを献げているだろうか。この音楽家の態度から大いに反省させられた。

これからの老人問題

保健、医療、福祉関係者で

シンポジウムを開く



写真 1 = 「開業医からみた老人保健法」について報告する西村理事、他パネラー5名。
写真 2 = 180名余も集まった会場いっぱい参加者 (10月23日、朝日生命ビル)

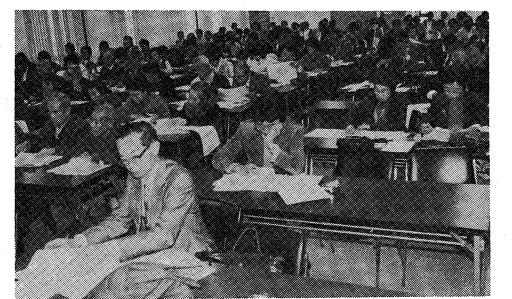
第二回これからの老人問題を考えるシンポジウム(主催同シンポジウム実行委員会、よびかけ人代表・小川政亮金沢大学法学部教授)が十月二十三日(日)金沢市の朝日生命ホールで開かれ、医師、研究者、保健婦、ソーシャルワーカー、婦人団体、老人会など百五十人余が参加しました。昨年に引きつづき開かれた同シンポジウムは、「老人の健康と家族の問題」を中心に活発に意見交換され、特に、今年二月から実施された老人保健法の影響を受けながらも、医療機関や家庭、地域で直面している問題、ひとり暮らし、寝たきり、高齢者世帯、ボケ

問題に苦しむ老人と家族の深刻な実態等が、県内の保健、医療、福祉の各分野から「老人医療一〇番」の電話相談の実施、「ボケ老人をかかえる家族の会」の結成にむけた取り組みや婦人団体による「ひとり暮らし実態調査」報告等が克明にされるなど、量・質ともにすぐれた画期的なものとなりました。

保険医協会では、今回より同シンポジウムの呼びかけ団体として参加することになり、西村邦雄理事より、「開業医から見た老人保健法」と題して、実際に医療を担っている立場から、何故病院が老人の追い出しや入院拒否をせ

ざるを得なかったか、保健事業における健康診査の問題等、老人保健法の矛盾について報告した。

また後藤田会長は閉会挨拶の中で、住民の健康を守るため、保健と予防を統一した地域医療に開業医が積極的に参加し、健康教育活動や、「老人の医療、福祉一〇番」の開設等の取り組みをすすめていくなど、地域と密着しながら老人問題に協会が対応していくことを強調した。



医師不信を招く

悪質な医療費通知

協会への相談事例より

金沢市内の某健康保険組合では毎月医療費通知を行っているが、その際、担当者より「お宅のかかっている病院はよそに比べて診療費が高い」と苦情をいわれたと患者の家族が私に相談してきた。

患者は六才の子どもで回復が遅く、受診回数も多く、少し診療点数が上がったものと思われるが、このような診療内容をみずに点数だけの比較で苦情を云われてはたまらないものでない。たまたま患者の家族が打ち明けてくれたから事情を説明し、納得してもらったことができたが、もし打ち明けてくれなかった場合を考えると何とも腹立たしい思いがする。(I生)

私達医師がもう少し関心をもって研究を重ね、現実的に困っている人々に、より多くの援助の手をさしのべられるようになることが大切であると思つていました。

◎十一月二十日に家族の会準備会の世話人会が開かれ、来年一月に正式発足を迎えることや世話人会の構成などが確認されました。この席上、平松先生は世話人に就任されました。

呆け老人家族の会 来年一月の発会を迎えて

副会長 平松昌司

十月三十日午後、金沢市健康総合センターで設立の会合が發起人の小坂直信氏の手順の下に行われました。

家族の会富山県支部事務局の勝田氏(富山協会事務局員)の祝辞の後、「老人呆けの医学と福祉」について京都・堀川病院医師の三宅貴夫先生がよくわかりやすい講演会があり、そのあと体験発表や質疑応答が行われました。呆け老人の家族、予防を心掛ける人や福祉関係の方々のお出でが多いうで「呆け老人を如何に大切に取扱おうか」という気立

のよいことだとして積極的になつてくれないと訴えた人が数人ありました。又、医者にかかつていない人も

云う返答がなされていまして、私は、内科的な肉体的検査を十分にしないで精神科

力の下に加療されるべきであらうと思つています。医者の仕事として治すことに興味をもつと共に、自分の体験

理事会だより

(11月15日)

二、十月十一月組織拡大月間の取り組み

〔協議事項〕
一、医療保険改悪反対の運動対策

(1) 地方議会対策
石川県議会ははじめ各市町村議会にて医療保険の改悪に反対する意見書の採択を求めて、県医師会及び各地区医師会が当該自治体に請願を行うよう申し入れる。一方、協会独自でも陳情を行う。

(2) 衆議院選挙立候補予定者にアンケートを実施。
今回の抜本改悪が選挙の争点になることが予測されるゆえ、立候補予定者に質問状を出し、回答を保険医新聞に掲載する。

(3) これからの保険医療を考ふるシンポジウムを開催。日時 十一月二十九日(火) 午後六時半
場所 石川県教育会館三階 小川政亮金大教授、武部友勝県警友会会長、平松昌司協会副会長等の報告にもとづき、参加者全体の討論を行い、県内の反対世論を高めていく。

(4) 国会請願署名の推進
会員の二十八%に至る一二医療機関及び県内諸団体より七、九〇〇名の署名が寄せられている。署名協力団体に対し、国会請願の報告及び十一月二十九日のシンポジウムへの参加を呼びかけていく。

〔報告事項〕
(1) 保険医年金「未入脱退」制度が発足
加入者に対し、未入通知とその入金督促にかかわらず、通算して六カ月分の保険料が未入となった場合、「未入脱退」として、以後の払込みを中断する。未入脱退となった場合は脱退勧奨の対象として取扱う制度である。

(2) 協会財政六カ月間(昭和五十八年五月〜五十八年十月)の収支報告
平均執行率五〇%のところ収入の部四八・一%、支出の部四五・九%であり、健全な運営となっている。この後、半期分の会計監査を受けた。

(3) 「老人の医療・福祉一〇番」初日に十件の相談
このうち病状相談が四件もあったことから、今後の電話相談日には医師の待機も検討することになった。



市町村番号		医療機関コード	
老人医療の受給番号		保険者番号	
氏名 (男・女) 明・大・昭 年生		保険医療機関の所在地及び名称	
(1) 左顎下腺管内唾石		診察日 (1) 58年 9月 10日	診療日数 3日 (日)
(2) (3) (4) (5)		診察開始日 (2) 年 月 日	診療時間 (3) 年 月 日
①初診 時間外・休日・夜間 120点		②再診 35× 70点	
③内科再診 40×		④初回再診 5×	
⑤時間外 50×		⑥休日 150・夜間 360	
⑦指導管理 (生活・自往)		⑧注射料	
⑨院内 薬剤 12×		⑩院内 薬剤 5×	
⑪院内 薬剤 6×		⑫院内 薬剤 5×	
⑬院内 薬剤 2×		⑭院内 薬剤 5×	
⑮院内 薬剤 1×		⑯院内 薬剤 1×	
⑰院内 薬剤 1×		⑱院内 薬剤 1×	
⑲院内 薬剤 1×		⑳院内 薬剤 1×	
⑳院内 薬剤 1×		㉑院内 薬剤 1×	
㉒院内 薬剤 1×		㉓院内 薬剤 1×	
㉔院内 薬剤 1×		㉕院内 薬剤 1×	
㉖院内 薬剤 1×		㉗院内 薬剤 1×	
㉘院内 薬剤 1×		㉙院内 薬剤 1×	
㉚院内 薬剤 1×		㉛院内 薬剤 1×	
㉜院内 薬剤 1×		㉝院内 薬剤 1×	
㉞院内 薬剤 1×		㉟院内 薬剤 1×	
㊱院内 薬剤 1×		㊲院内 薬剤 1×	
㊳院内 薬剤 1×		㊴院内 薬剤 1×	
㊵院内 薬剤 1×		㊶院内 薬剤 1×	
㊷院内 薬剤 1×		㊸院内 薬剤 1×	
㊹院内 薬剤 1×		㊺院内 薬剤 1×	
㊻院内 薬剤 1×		㊼院内 薬剤 1×	
㊽院内 薬剤 1×		㊾院内 薬剤 1×	
㊿院内 薬剤 1×		㊿院内 薬剤 1×	
合計点数 961点		一部負担金額 400円	

七十二才の女性。口が苦いと訴え来院した。口腔咽喉粘膜にこれといった異常はなかったが、よくみると左ワルトン氏管開口部に少量の膿汁が認められた。口腔底を触診すると左側に圧痛のある小硬結を触れ、更にワルトン氏管ブジールングで開口部から約1cmの位置に唾石を確認し、同時に多量の膿汁の排泄を認めた。

左顎下腺のX-P検査で唾腺管疾患が疑われる場合、唾腺管ブジールングは簡便で、しかも診断的価値の高い検査法である。その保険点数は現在また設定されていないが、

レセプトの返戻及び不当な査定等ありましたらぜひ当会保険部までご相談下さい。

〔第 55 例〕

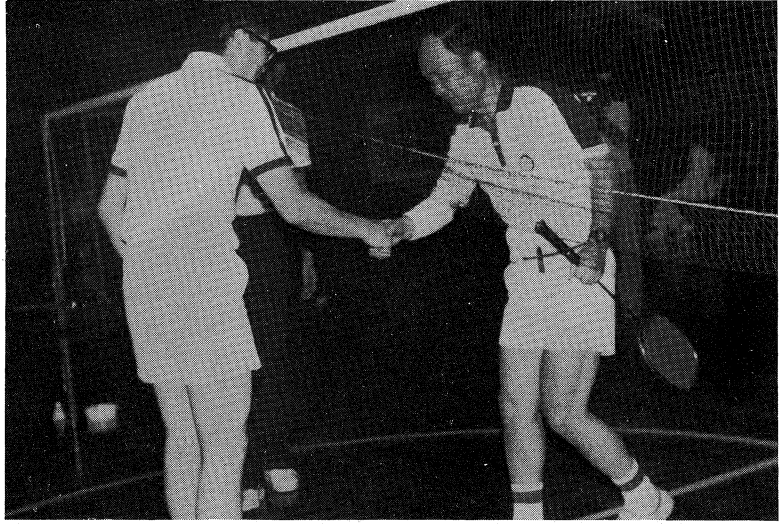
レセプトがふらんす

唾液管疾患が疑われる場合

下腺内、移行部に他の唾石陰影を認めず、唾石が一個であることを確認した上で日を改めて外来手術を施行し、米粒大の唾石を摘出した。術後、ワルトン氏管からの排膿は消失し、訴えも軽快した。

お知らせ

レセプトかんふらんすはこれまで返戻レセプトの相談やポピュラーな疾患に対する診療の手びきを中心に掲載し、会員のみなさんから幅広い支持を得ているものです。



試合前の挨拶をする柴田清吾先生 (右) と私

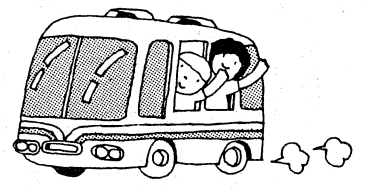
千葉市・柴田医院チームと

バドミントンの交歓試合

金沢市 石丸 幹 夫

今年の冬、ひよっとしたことから、全国保険医新聞に、千葉市で小児科を開業して

られる千葉県保険医協会理事の柴田清吾先生という方が、バドミントンの記事を書いておられるのを発見し、さっそく私共医院チームとの交歓試合を申し込みましたところ、大歓迎をうけ、柴田医院を主力とする千葉県保険医協会の方々のお世話で素晴らしいバドミントン大会をしていただきました。



十月三十一日夜、貸切観光バスで、私共医院女子十一名と私のところのバドミントンクラブの男子四名は、ラケットをたずさえ、千葉市に向いました。千葉市の勤労者体育センターに着いたのは翌二十三日の午後三時半でしたが、途中、東京デイズニールランドで遊んだことと寝不足で、まともな試合が出来ないのではないかと心配したのですが、柴田先生はじめ千葉県保険医協会の方々の熱烈歓迎で、すっかり元気になりました。

も国際試合の如きセレモニーで、プラカードを先頭に入場行進、君が代、選手宣誓、そしてゲーム。表彰式は勝ちました私共チームに一人一人金メダルがかけられました。もちろん試合風景は全部ビデオテープに記録されました。観客はオリンピッククのような行きませんが、子供達の声援もあり、私共や職員達にとっても素晴らしい体験でした。

医師間だけのスポーツ交流はいろいろとこれまでありますが、医師同志の職員のスポーツ大会はめったにないようです。今度の交流を経験して、職員の生き生きとした顔を見て、今までの慰安旅行にない貴重なものを得たように思います。兎角、女子職員が多い医療の世界では、その業務の特殊法もあって、彼女達のスポーツ活動にはいろいろ制限もあるようですが、管理者の医師としては、あまり関心を今まで持っていないかったのも事実です。私自身はバドミントンをたまたまやりましたが、病医院の規模によって、いろいろな種目が出ると思います。来年はいずれこへ遠征に行こうかと職員も張切っておりますし、旅費をもっと積立てねばと話合っています。

(耳鼻咽喉科)

第8回家族・従業員レクリエーション

妙高高原 杉ノ原スキーツアー

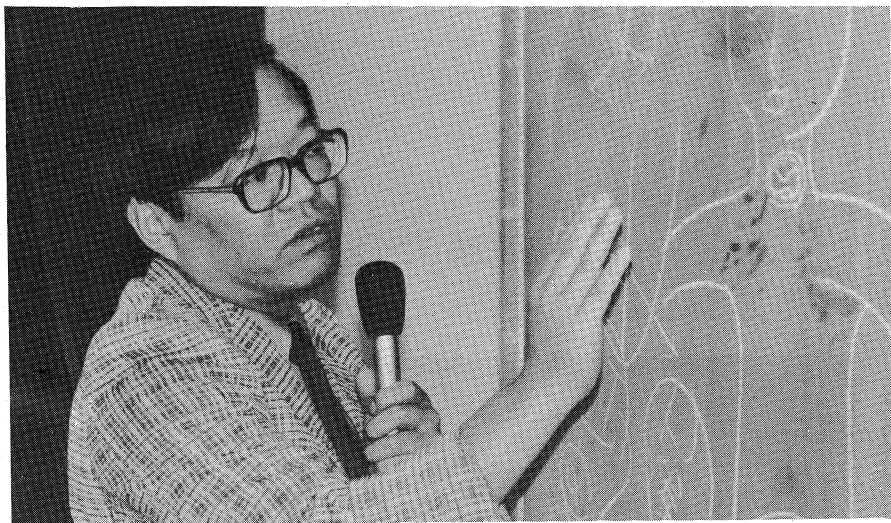
昭和59年2月10日(金) 金沢駅前・午後7時半出発 杉ノ原(宿泊=京山荘)
 2月11日(土・祭) 1日スキーと夕食時懇親会 (宿泊=京山荘)
 2月12日(日) スキー、もちつき、午後2時杉ノ原出発 金沢到着午後7時

参加費 大人 23,000円 小学生 18,000円
 (2泊4食、リフト1日券、ゴンドラ1回券付)
 定員 60名……先着順です。第1次締切は12月末日です。

※ご家族・従業員そろって楽しんでいただけるスキーバスツアーです。
 貸スキーは現地にて手配致します。初心者の方もお気軽にご参加下さい。

お問合せ・お申込みは 石川県保険医協会 文化部 ☎ 0762②5373番





内科診断学シリーズの講師として熱心に講演される池田先生 (10月28日、石川県医師会館にて)

研究会報告

ベッドサイドの内科診断学(その二)

身体的所見のとり方

金沢大学医学部第一内科 池田孝之

シリーズ二回目は身体所見のとり方について話していただきました。以下にその内容を要約します。

患者が診察室の中に入ってきた瞬間から診察を始めなくてはなりません。まず歩行障害の有無をみる。パーキンソン症候群の歩行障害などは特徴があり、それだけでも診断的価値があります。頭部の視診としては、顔貌・眉毛・瞳孔・口唇などに注目します。粘液水腫では頭髪が薄くなり、眉毛も外側三分の一が薄くなります。瞳孔では、左右差の有無・対光反射の有無が大切です。対光反射消失・調節反射保存をみるものを、Argyll Robertson 瞳孔といひ、進行麻痺の重要な徴候。これと鑑別を要するものに Adie 症候群があります。眼振は指を動かして急に止めると現われやすくなります。結膜では当然貧血・黄疸の有無を確認すること。口ではまず鼻唇溝や口角が左右対称かをみます。次に舌や軟口蓋の対称性をみます。発声させて口蓋垂が偏位しないかも確かめます。歯肉を舌圧子で圧迫して膿が排出すれば歯槽膿漏が疑われます。頸部の診察で重要なのは甲状腺とリンパ節です。甲状腺の有無は視診だけでは不十分で、必ず両手

で触診すること。リンパ節の触診は、胃癌転移の部位である左鎖骨上窩だけでなく耳介後部まで丹念に触れなくてはなりません。頸動脈の触診も大切です。左右差があれば大動脈弁症候群・血栓性閉塞性動脈炎が疑われます。

胸部の視診では、胸部の変形の有無、心尖拍動に注意します。心尖拍動の位置により左室・右室肥大が推測できますし、収縮期陥凹で癒着性心膜炎を発見できます。打診では肺肝境界・心濁音界を求めます。次に聴診器で呼吸音と心音を聴く訳ですが、聴診器は二五〜三〇センチの管の短いものを選びます。ベル型で低周波の音を、膜型で高周波

の音を聴くことが必要で、急れば当然聴取できるものを聴き漏らすこととなります。呼吸音は、患者に口を軽く開けた状態で呼吸させて聴き、側胸部でも聴くことです。心音の聴診では、患者に坐位・仰臥位・左側臥位をとらせ、しかも膜型・ベル型両方で聴くことが大切です。

見逃しやすい疾患として、慢性閉塞性肺疾患、潜在性心不全、上室性・心室性期外収縮、同期性浮腫がありますが、いずれも丁寧な問診と基本的な診察をすれば診断が可能です。



(十月二十八日) 学術部 西村 記

連載

窓口で役立つ

社会福祉ガイド

日常生活用具の給付又は貸与

ねたきり老人、ひとり暮らし老人の方に少しでも日常生活を快適に過ごしていただくために日常生活用具が給付・貸与されます。

費用は無料ですが、対象者は「おおむね六十五才以上の

低所得」となっています。このため、低所得の基準は、市町民税非課税とか、生活保護基準の一・三倍というように市町村で異なっています。

さらに、給付・貸与の対象となる品は下表のとおりです



が、中には、給付・貸与を行っていない品目もあります。また、マットレスについては、破損その他の事由により取り替える必要がある時には、再支給されます。利用にあたっては、市町村の老人福祉担当課でよく御相談ください。

◎次回は紙オムツの支給や理髪サービスについて。

区分	種 目	対 象 者
給 付	○ 特殊寝台	おおむね65才以上の低所得のねたきり老人
	添槽及び湯沸器	同上
	○ マットレス	同上
	○ エア・パット(エア・マット)	同上
貸 与	腰掛(便座(便器) 特殊尿器	同上
	○ ガス警報器	おおむね65才以上の低所得のねたきり老人、ひとり暮らし老人
	○ 火災警報器 自動消火器	同上
貸 与	○ 老人用電話	おおむね65才以上の低所得のひとり暮らし老人等

※ ○印は金沢市実施種目

研究会の講演要旨

日常多くみられる小児の皮膚疾患

市立小松総合病院皮膚科 江口和夫

小児の皮膚疾患で一番多いのは温疹・皮膚炎である。この中で特に、アトピー性皮膚炎が多いので、アトピー性皮膚炎を中心にスライドにて説明。更に、細菌・ウイルス・真菌による皮膚感染症についても述べた。

● アトピー性皮膚炎 喘息・尋麻疹・アレルギー性鼻炎と共にアトピー性疾患に属し、その症状は年令及び季節により変化する。一般に秋口〜冬、更に春先にかけて症状が顕著となる。大多数は十才ぐらいで消褪する。本症に関連し、乳児脂漏性皮膚炎、貨幣状温疹、ズック靴皮膚炎、古なめすり皮膚炎についても臨床状を供覧した。

● 帯状疱疹 小児では掻痒を訴えることしばしば認められる。カポジ水痘様発疹症は本症の重症型であり、初感染の場合が多い。

● 伝染性膿痂疹 水疱とヒランを呈し、その水疱蓋は薄いため破れやすい。本疾患の重症型がブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群(SSSS)である。

● 急性伝染性発疹症 風疹、猩紅熱、伝染性紅斑、ジフテリア病及び同症候群、川崎病(MCLS)の臨床像を呈示した。

● 水痘 水痘蓋は薄く破れやすい。小水疱は紅暈を有する。本症の初期像と虫刺症の鑑別は、紅暈の浸潤の有無である程度区別が出来る。すなわち、虫刺症は浸潤があるが、水痘は浸潤が無い。又、Tzanckテストを行えばウイルス性巨細胞の有無で鑑別は出来る。

● 尋常性疣贅 足趾の疣贅はしばしば鶏眼と間違えられる。小児には鶏眼が無いと言っても過言ではない。

● 白癬 ステロイド外用使用による異型白癬や、猫からの感染による斑状小水疱性白癬、ケルズス疣瘡について説明。

● カンジダ症 おむつ皮膚炎との鑑別の必要な乳児寄生菌性紅斑について述べた。おむつ皮膚炎はおむつの当る部位に限局した紅斑で、皺襞の中は侵されない。一方、乳児寄生菌性紅斑は紅斑の周囲に膜様落屑や小膿疱・小丘疹が認められ、皺襞の中まで炎症が及んでいる。

● 単純疱疹 厚い水疱蓋を有する小水疱が集籍・融合し局面を呈する。小児では、眼瞼縁や指にしばしば

が多い。帯状の典型疹の他に散在状に小水疱がみられるのを汎発型帯状疱疹という。

(十月二十六日)

舌つづみ



大衆割烹 “二日市屋”



“あんちゃん”と親しまれている若主人

千代尼忌で知られている松任市中町の「聖興寺」に接して「二日市屋」があります。仕事を終えてから軽く一杯といった雰囲気である居酒屋として、松任市民に親しま

れている大衆割烹です。「あんちゃん」と愛称で呼ばれている主人は二代目。青山学院卒で米国にも留学し英語はペラペラ。外人仲間では結構名が知られています。料

理の腕も抜群で、季節毎の旬のものを食べさせてくれます。松任市中町七九一 電話 〇七六二(75)〇六三三 (S)



遊覧船にゆられてご機嫌の横井先生

毎年恒例となっている家族・従業員レクリエーションは、十月九日(日)、十日(祝)の両日、宝塚歌劇と神戸散策の旅に、十医療機関三十九名参加した。受付の事務や看護婦など女性の従業員が大半の医療機関にあって、今回の企画は、第一日目・宝塚歌劇花組公演「メイフラワー」の観劇、百萬ドルの六甲の夜景を臨みながらのジンギスカン料理、第二日目・北野の白い異人館通りの散策、神戸港遊覧船めぐりなど、好評であった。

こんな機会だから…

—盛り沢山の企画に感激—

金沢市 横井美佐子

今回の旅行は、連休丸二日を使って盛り沢山の企画で行われました。ベテランのガイドに恵まれ、大ハアスルの富永さん、大川さんのお蔭で

お世話様でした。翌日の異人館めぐりは、急な坂道と人混みのため息切れしきり。車に馴れた足と年(?)には一寸こたえました。遊覧船から眺める神戸の街もまた珍しく、「こんな機会ならこそ」と感激の声も聞かれ、本当にこまやかな配慮の数々に感謝しつつ帰路につきました。

でも楽しく実り多いものでした。うちの新人入り三人は、初参加とあって出発数日前より異常に興奮し、憧れの宝塚観劇や、百万ドルの夜景を見ながらの六甲ホテルでの夕食。更には天空高くそそり立つ神戸ポートピアホテルの宿泊等、乙女心をかきたてるものばかり。宝塚ファミリーランドのスペースコスターでは、その極に達し、おもしろしをしかけたそう。その夜のホテルでも実演を繰り返すはしゃぎようでした。

医院相互の交流も

青山節子

保険医協会から二日間の旅行。

早朝八時出発。しかし、休日のため宝塚観劇、遊園とも人ごみに紛れ感動に浸ることなく終わった感じがしたが、有名な宝塚観劇だけに熱演、そしてファンの熱狂ぶりには圧倒されました。

その後向かった六甲山の夜景は、バスガイドさんではありませんが、一〇〇万ドル以上の迫力のある夜景でした。金沢では味わうことができない六甲の夜景は、一瞬心を静止させるような静夜でした。

二日目は湊川神社あと数箇所見学したわけですが、他の医院の方との交流は全くというほどなく終わったことが大変残念でした。次回また、このような場を設けていただけたら、もっと他の医院の方たちとの交流を深めていけるような進行であったらと思います。しかしその前に私たち自身が親交を持つことだと思えます。二日間の旅行は大変思い出に残りました。(小坂医院勤務)

〃百万ドルの夜景〃を満喫

山下七重

この旅の印象記といえは、みな書くことは一つであろう。やはり、あのすばらしい夜景をなくしては、この旅行を語ることは出来ないのではないかと。思う。

をちりばめたような神秘さに魅せられ、まさに、地上の天の川を渡っているような気分になされるのだ。

この旅行は、私達の、なんのへんてつも無い毎日に、新しい刺激を与えてくれたように思う。そして、ここちよい想い出も、一人一人の心に残してくれたに違いない。帰りの道はひんやり冷たい空気にすこししみりして、また行きたい神戸であった。(井口外科医院看護婦)

税務に関する電話相談

毎月第2, 第4土曜日

〈受付時間〉午後1時半～3時

☆相談の際は要点を整理してお電話下さい。
☆連絡先はおのの税理士さんの事務所です。

相談日	担当税理士	連絡先の電話番号
12月10日(土)	宮崎文夫 先生	0762 (38) 5957
12月24日(土)	前多重男 先生	0762 (44) 1484
1月14日(土)	湯村広行 先生	0762 (43) 5188
1月28日(土)	北川干城 先生	0762 (49) 2788

リーンリーン、ハイ、こちらは保険医協会の 老人の医療・福祉・110番です

私たち石川県保険医協会は、県民のみなさんが安心してよい医療を受けられるよう努力している県下450名の開業医師、歯科医師の団体です。医療・福祉制度がよく分からないばかりに医療費や介護に苦しんでいるみなさんが安心してよい医療を受けられるように、各科の専門の医師、医療ソーシャルワーカー、協会事務局員等が電話相談に応じます。付添看護料の請求の仕方や老人ホームの入所方法、ねたきり老人の短期保護事業などといったいろいろな医療・福祉制度についてのご質問や相談に応じます。どんな問題でもお気軽にお電話下さい。



☎ (0762) 22-5373

相談日 / 毎月第2, 第4土曜日
時間 / 午後2時から7時まで